

社会福祉学専攻

博士課程

社会福祉学専攻【専門科目】問題

● 次の【問題1】～【問題3】より1問選択し、解答しなさい。

【問題1】

わが国における福祉元年の意味を述べるとともに、それ以前と以降の社会福祉政策の相違を公私関係の変容の視点から論じなさい。

【問題2】

以下は、籠山京・江口英一の見解である。これを論評しなさい。

「最も弱い一人のケースは、全体に関わっているのである。資本主義社会のいちばん下辺の、そのまた最底辺に横たわっているものを守ることは、この不安定なものの上に組み上げられている集団を守っていくことになる。もしも全体が安定していて、その不安定なものが切りはなされた一部にすぎないなら、その一部を手術でもするように切り捨ててしまうこともできる。しかし全体が不安定で、それが特定のものの不安定に連鎖している以上、必死でそれを守らざるを得ないのである。」（出典：籠山京・江口英一『社会福祉論』光生館、1974年、46頁）

【問題3】

社会福祉の立場からみた、成年後見制度の問題点について述べなさい。

社会福祉学専攻【専門科目】問題

① 次の選択問題【1】～【3】より1問選択し、解答しなさい。

② 解答は論題番号が記されている別紙解答用紙に記入し、300字以上700字以内で答えなさい。

【選択問題1】

人の一生と社会福祉との関連を、具体的施策及びサービスを挙げながら具体的に論じなさい。

【選択問題2】

ソーシャルワークにおけるポストモダン思考に基づいた理論・実践アプローチについて説明するとともに、それらの今日的福祉実践に与える影響と課題について論じなさい。

【選択問題3】

福祉政策において用いられる「必要（あるいはニード、ニーズとも）」とは何か、説明しなさい。